

サルの苑タイムズ

施設の魅力発信へ(第12回フォト作品展)

「施設で過ごすお年寄りの生活(くらし)」

一般社団法人群馬県老人福祉施設協議会(県老施協)が主催する第12回『施設で過ごすお年寄りの生活(くらし)』フォト作品展の開催がこのほど決定し、高崎市の苑が応募した作品2点を含む97作品が2会場で展示されます。



フォト作品展(昨年)

同作品展は施設で生活するお年寄りや支援を行う職員などの笑顔を展示し、老人福祉施設の理解と介護職の魅力を広く県民に発信することを目的に開催するものです。フォト作品展の日程は以下の通り。

- ジョイホンパーク吉岡 9月1日(月)～7日(日) 9時～20時
- スマーク伊勢崎 9月9日(火)～15日(月) 10時～21時



令和7年8月15日発
第131号

〒370-0002

高崎市日高町433-1

TEL: 027-329-7211

社会福祉法人健康生人会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

ユニット短信

●『コスモスの種まき』
GSユニットではこのほど、三号館玄関前のプランターに「巨大輪きんせんか」と「コスモス」の種まきを。
植物を種から育てるのは容易ではなく「土は少なく、芽が出たら間引き

運営推進会議を開催(第2回)

今期第2回運営推進会議が7月31日高崎市の苑会議室で行われました。事故対策等を報告
会議では、現時点における入所者数および稼働状況や事故状況などについて、施設長から報告を行い、各推進委員より意見を求めました。
このうち事故報告については、自力で動く方

を」等の助言を利用者様から頂きました。ユニットでは現在水やりに余念がなく、皆さんの力を借りながら、秋に向けて綺麗な花が咲くのを心待ちにしています。



のハンドベル演奏で行事を一層盛り立てました。曲目は「たなばたさま」「ふるさと」等で、もとも歌好きな利用者様が多く、皆さんの元気な歌声が会場のリビングに響いていました。



●『全国短歌大会に投稿』

「全国ふれあい短歌大会」に白寿を迎えた伊藤シヅエ様が心境を短歌二題にし投稿しました。
『白寿迎え 万感の想い 胸に熱く 長き人の世 愛しさに充つ』
『主なき 庭に咲きいる 秋明菊 細き両足 降りそそぎおり』

●『貴重なメロン収穫』

このほど終了した「夏野菜栽培PJ」。必要な時期に雨が降らず、連日の高温でプランター栽培の難しさを思い知らされた今年のプロジェクト。

カメラスケッチ

市内随一の景観地「展望花の丘」では現在、3千株の夏の象徴・ヒマワリがピークに。記録的猛暑の中、少し「バテ気味」を感じさせるヒマワリをカメラに納めました。



水分不足が原因で不作の中、小玉スイカは辛うじて二個収穫。EFユニットベランダのメロン栽培は思うように着果が進まない中、貴重な一個のメロンが出来、ユニットの皆様に美味しく召し上がって頂きました。

ユニットたより

「大人気アイスと西瓜」

連日の猛暑の中、冷たいおやつを食べて涼を感じて頂こうと、A Sユニットではアイスクリームパーティーと共に神保隆様の誕生日会を企画しました。

イベントの数日前に利用者様のご家族様から大玉スイカ、そして花の苑産の小玉スイカが届きました。前日、調理室から大きな包丁とまな板を借りて大きなスイカを二つに切り分け、冷蔵庫に入れて準備万端。

当日は好きな味のアイスをチョコソースやスプレーで自分流にトッピングして頂きました。もちろんアイスも好評でしたが、暑さの中スイカは絶



大な人気でした。



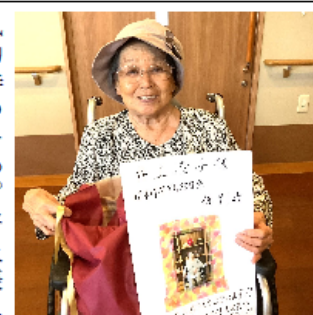
新しく入所された山口英子様と柿崎ケイ様がきれいに切り分けてくれました。スイカを選ぶ表情も真剣な渡辺二三枝様、伊藤シヅエ様。あまりのおいしさに皮まで食べる勢いの神保隆様、青木友子様。旬の果物に皆様大満足の様子でした。甘くて冷たいスイーツに、酷暑で悲鳴を上げている体が少しでも癒されるといいなあと願うばかりです。

(A・Sユニット U)

「昭和の喫茶で誕生日会」

G Sユニットではこのほど、満91歳を迎えられた井上澄子様の誕生日をユニットの皆様とともに祝いました。

井上様は東京浅草で生まれ育った方。この時期、浅草のほおずき市は夏の



風物詩の一つ。井上様に「ほおずき市、懐かしいでしょう？」と声をかけると、遠くを見つめるように、ニッコリとうなづいておられました。

そんな井上様のこの日の誕生日祝い、ユニット内に模擬喫茶店を設け、本人希望のフルーツパフ

ェトトーストを準備。フルーツパフはコーンフレーク、フルーツ、アイス、生クリーム、チョコを順番に重ねて完成。トーストはあんバターやピザ、コーン、ツナ等用意して焼きたてを皆



様にお出ししました。

懐かしい昭和の「喫茶」で過ごして頂いた後、井上様にはご本人希望の帽子とタオルをプレゼント。「こんなに長生き出来て、皆様に祝ってもらい嬉しいですよ」と感極まって涙ながらの挨拶をすると、ユニットの皆様も職員も「おめでとー！」と応えながら、もらい泣き姿も見られました。

井上様はこの日終始ブレゼントの帽子を被り、大変気に入って下さったようでした。

(G・Sユニット Y)

「真夏の歌会イベント」

H Iユニットでは、苑内のウクレレバンド「タコンポ」による歌会イベントをこのほど実施しました。イベントを知った



G Sユニットの方たちが「行きたい！」と熱望されたため想定より大人数の開催となりました。

歌会では「われは海の子」「真つ赤な太陽」「下町の太陽」「夏の思い出」など夏をテーマに、ウクレレの音色に合わせ元気に唄いました。

特に、数日前から歌詞カードを手練習していたH Iユニット木暮正様の歌声は素晴らしくみんな感動していました。

最後はバンドのメンバーである高嶋秀夫様が他メンバーのウクレレ演奏

に合わせ「東京ブルース」を歌うサプライズで終了。「楽しかったー。またやってね」と大好評だったウクレレイベント。次回開催が早くも待たれています。

(H・Iユニット K)

委員の一言メモ

★家のベランダから四か所の打ち上げ花火が見えます。この夏、勤務が被らないように願っています(由) ★子供と地元の夏祭りに。くじ引き、太鼓演奏など一緒に楽しみました(努) ★寝苦しい夏の夜、サーキュレーターを使用。寝相の悪い主人によって倒される始末に

(彩) ★街に動物が出没する昨今。先日帰宅途中、車の前を走り抜けるキツネにビックリ(広) ★この夏「四万ブルー」と噂の奥四万湖へ。晴天の中、予想の数十倍の青さに感動(山) ★毎日徒歩通勤。暑さを凌ぐため途中スーパに寄り休憩。熱中症に気を付けたいです(貴)

★生演奏による歌のイベント。業務の合間に練習している姿を見ているので演奏会の成功は嬉しく思います(美) ★今季広報コンテスト(フォト部門)で「青空と笑顔と夏野菜」が二次審査へ。目指すはまず自身が感動し伝わるフォト作品を(井)

伝わるフォト作品を(井)